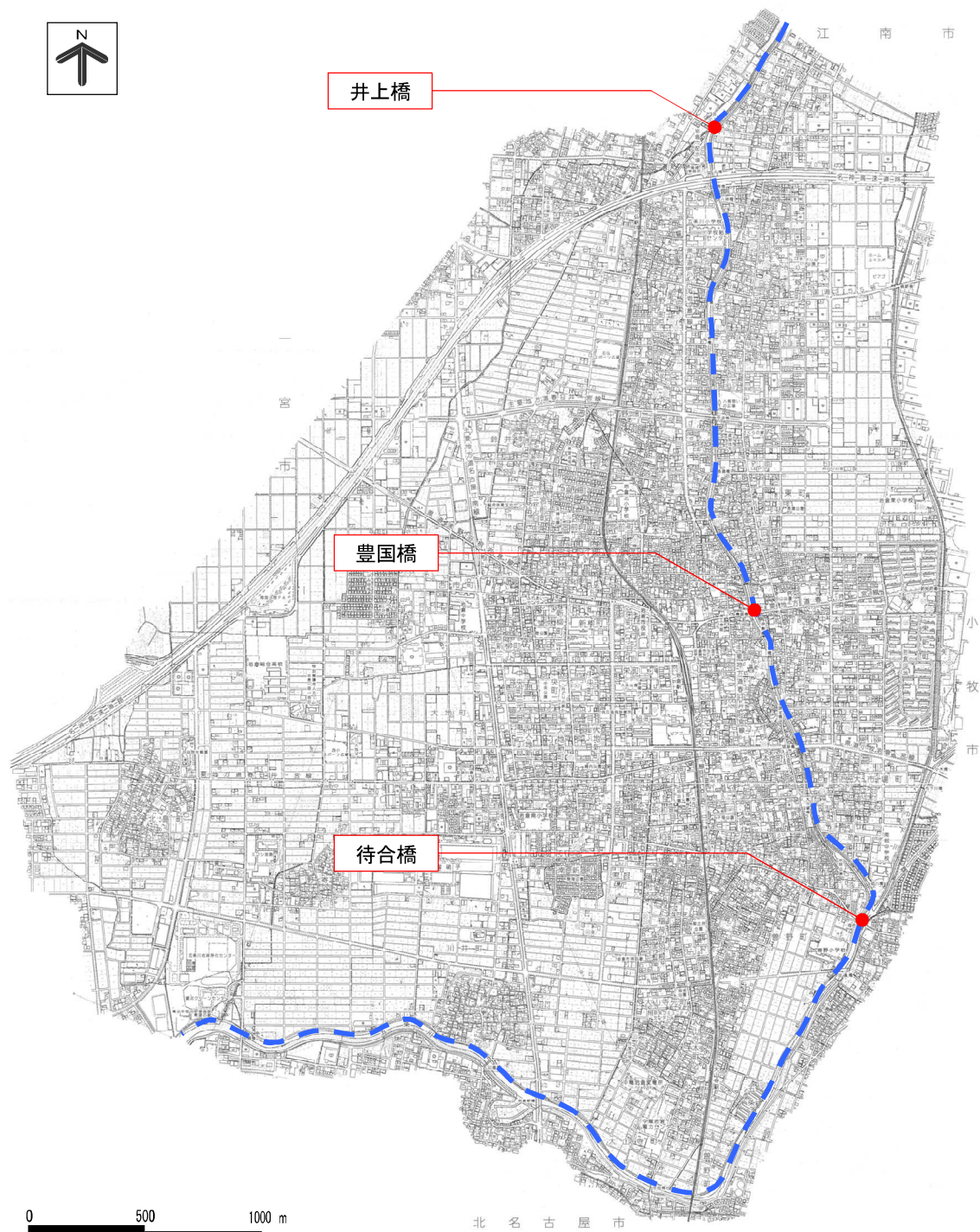


1-4-2 水質

(1) 調査の地点

市では、毎年2回（6月と12月）、以下の3地点において五条川の水質を調査している。



資料：市資料（公共用水水域水質調査）

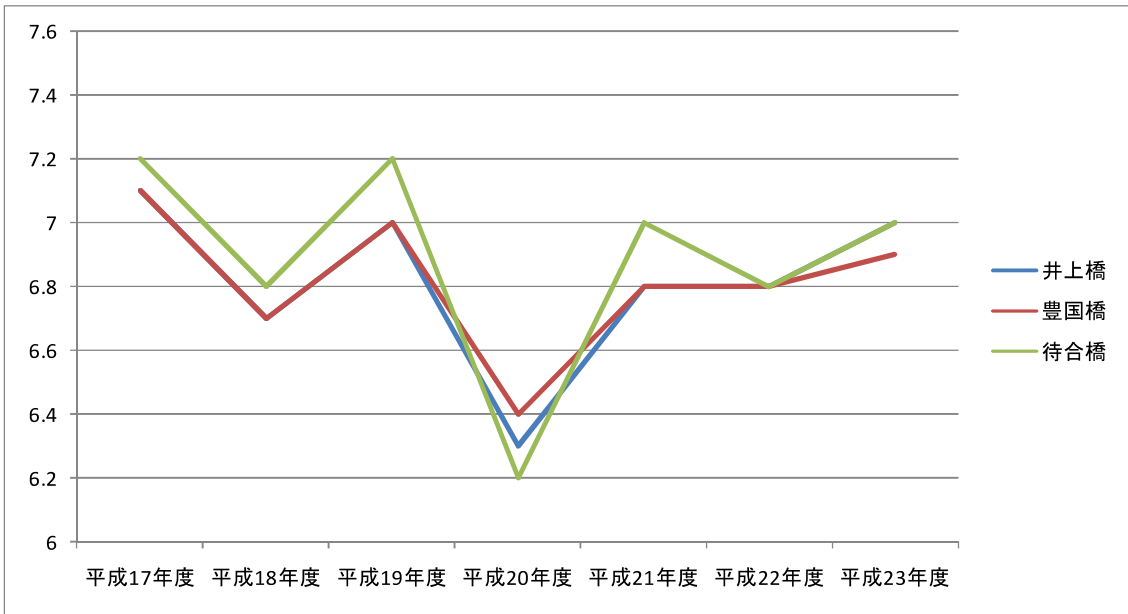
図 1-4-3 水質調査地点

(2) 調査の結果

① pH（水素イオン指数）

pH（水素イオン指数）は、酸性・アルカリ性の程度を表す指標である。pH=7を中性と呼び、pHの値が0に近づくと酸性が強くなり、反対に大きくなるにつれアルカリ性が強くなる。pH=5.8～8.6が適正数値とされている。

平成17年度から平成23年度の調査結果をみると、3地点のpHは6.2～7.4の間にあり、適正数値の範囲内にある。平成20年度が他年度よりやや低くなっているが、概ね横ばい傾向である。



資料：市資料（公共用水水域水質調査）下図も同様

図 1-4-4 pH調査結果（6月）

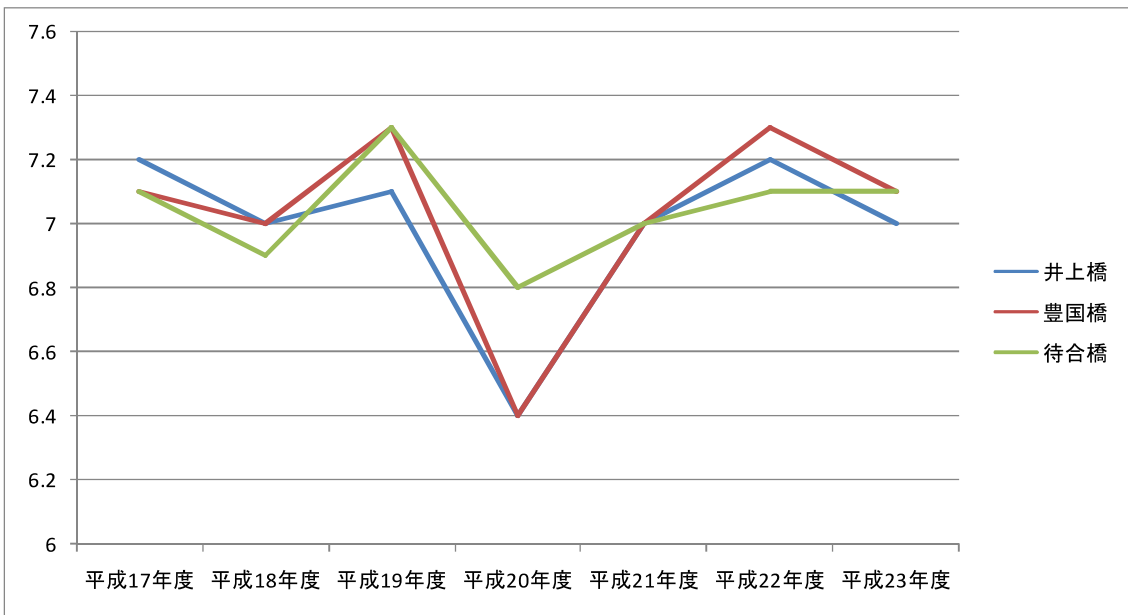


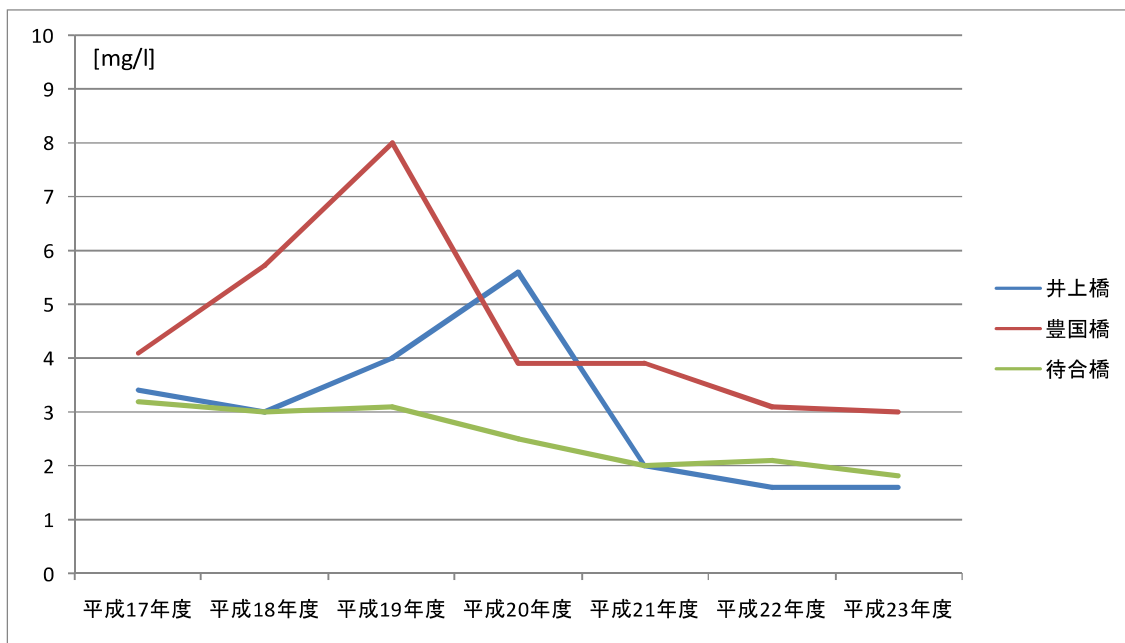
図 1-4-5 pH調査結果（12月）

② BOD（生物化学的酸素要求量）

BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水中の有機物質等が微生物によって分解される際に消費される酸素の量を表したものであり、水がどの程度汚れているかを示す基準となる。この値が大きいほど有機物による水質汚濁が著しいことを示している。

平成17年度から平成23年度の調査結果をみると、6月の調査では減少傾向にあり、平成23年度においては1.5～3.0 mg/lである。

一方、12月の調査では、年ごとに増減が激しく、ばらつきがある。



資料：市資料（公共用水水域水質調査）下図も同様

図 1-4-6 BOD調査結果（6月）

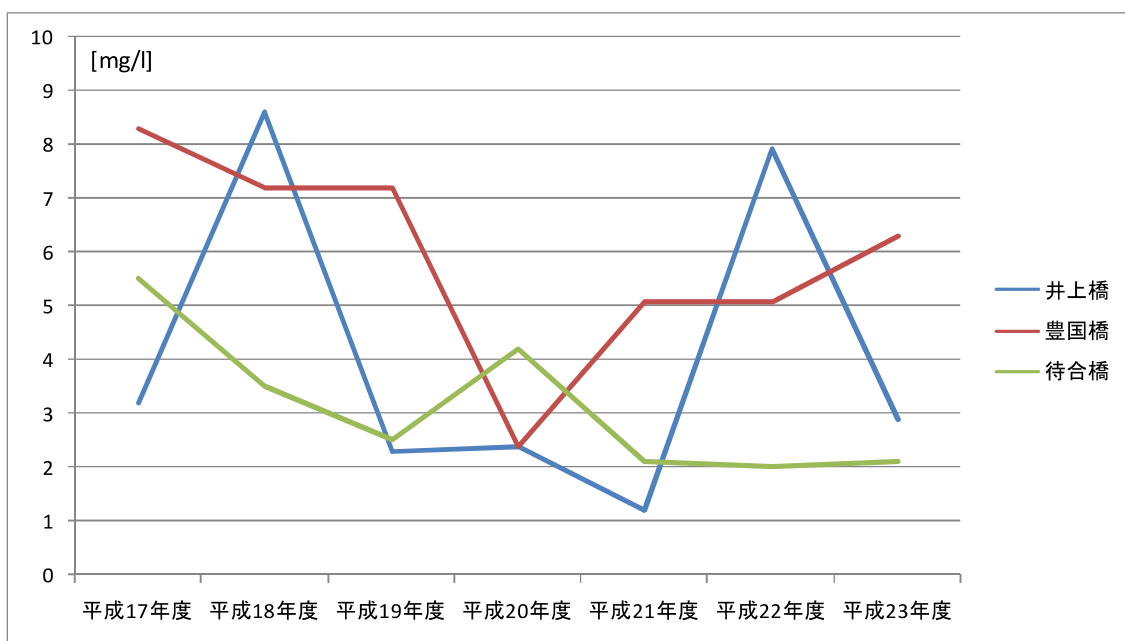
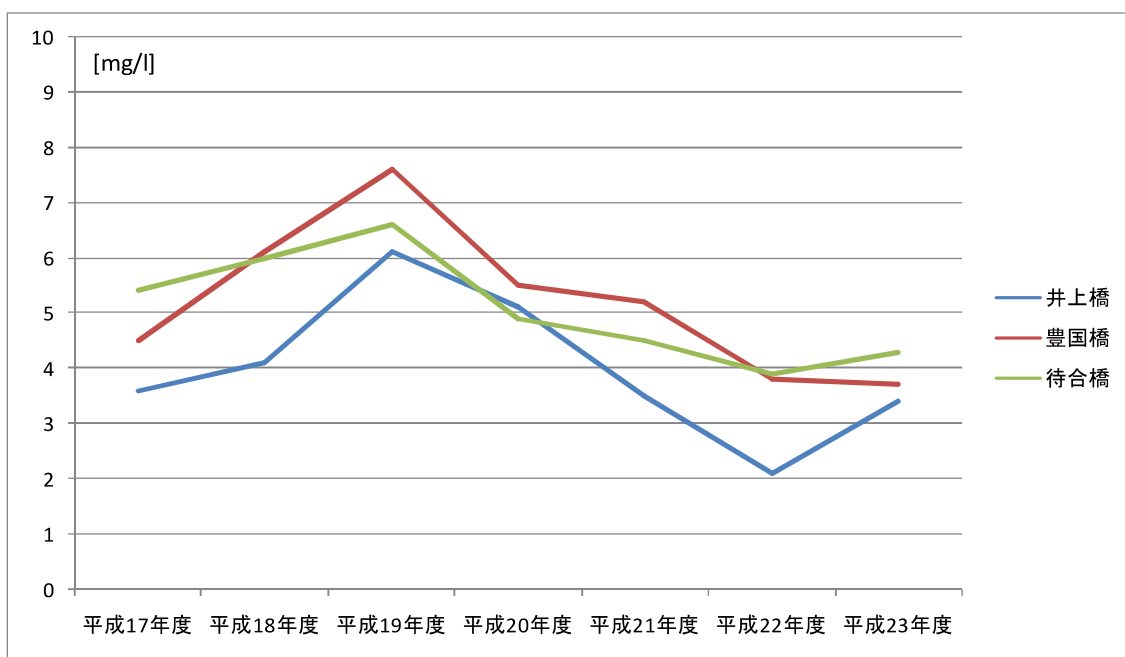


図 1-4-7 BOD調査結果（12月）

③ COD（化学的酸素要求量）

COD（化学的酸素要求量）とは、水中の有機物質等を酸化剤で酸化するときに消費された酸素の量を表したものであり、水がどの程度汚れているかを示す基準となる。CODの値が大きいほど有機物による水質汚濁が著しいことを示している。

平成17年度から平成23年度の調査結果をみると、緩やかな減少傾向にある。また、総じて3地点とも6月よりも12月の方が値が大きい。



資料：市資料（公共用水水域水質調査）下図も同様

図 1-4-8 COD調査結果（6月）

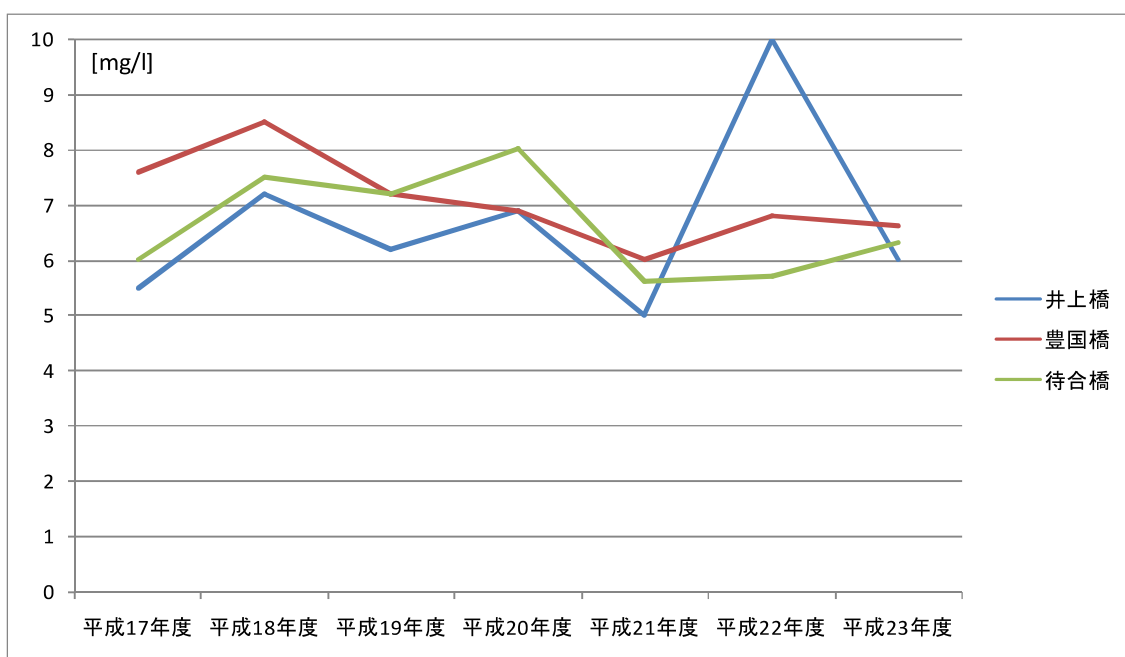


図 1-4-9 COD調査結果（12月）